

モニタリング（夏シーズン）

（１）結果概要

ア 大山絵とうろうまつり

評価した人	11名（産業能率大学10名、当センター職員1名）
評価実施日	8/1、12、15（3名）、16（5名）、17 いずれも18～20時頃
イベントに行くのは	初めて 全員（11名）
選択したコースは	「どちらも」 1名
	「下社・夜景」 コース 5名
	「県道611号線」コース 5名

*評価項目中、ゴシック下線付で表記されている回答は複数回答である。

評価項目1 「絵とうろうまつり」のチラシについて

わかりやすい（5名） 概ねわかりやすい（4名） 少しわかりにくい（2名）

【よかった点】

- ・地図や写真があり、店や旅館の特徴・位置関係もアイコン使用で具体的で分かりやすい。
- ・老若男女問わずすべての人が見やすい。
- ・プレミアム夜景と絵灯籠を良いバランスで組み合わせていて分かりやすい。
- ・ポスターもあったが思わず行ってみたいと思わせる写真になっていた。
- ・イベントに参加する人にはわかりやすい。

【気になった点】

- ・ケーブル駅バスターミナル周辺は複雑な形をしていて、地図と比べるとわかりにくかった。
- ・絵とうろうまつりは夜行くもので、チラシを見るか。見る時間の考慮をする。
- ・スタンプラリー対象の店がすぐに分からなかった。

【提案など】

- ・時刻表、灯籠点灯時間、駐車場の値段などの情報がほしい。時刻表はQRコードを載せ、携帯で読み取れるようにする。
- ・イベントのみをまとめたタイムスケジュールがあるとよい。
- ・写真を多く使用して大々的にピックアップしてアピールしたほうがよい。
- ・外国人は店の名前など読めないで、店の名前以外の目印を置く。
- ・ゆるキャラの出演日程があるとよい。コマの絵付け教室などは予め抽選にするとよい。
- ・スタンプ引き換え場所を明記する。

評価項目2（「下社・夜景」コースを歩かれた方）大山阿夫利神社下社からみる夜景について

【よかった点】

- ・「遠くまで見渡せる」という印象よりも、「綺麗」と印象が強い。
- ・地図のようなものが石に刻まれていて分かりやすい。
- ・いつまでも眺めていたい。
- ・建物の光がつながって美しく見えた。空気が澄んでいて空が美しい。
- ・絵灯籠の階段と夜景がセットで撮影できる。

【提案など】

- ・夜景の見頃の時間をパンフレットに書く。
- ・デートスポットなどに最適である。下社をバックに音楽のライブイベントや、街コン開催など大山観光電鉄と共に活用方法を模索する。

評価項目3 「牛乳パックとうろう」や「絵とうろう」について

【よかった点】

- ・デザインも新鮮で長時間、食い入って見た。
- ・手作り感が満載で地元の人の愛・こだわり・一体感を感じる。LED は過去と現代の技術を上手に組み合わせている。
- ・一つ一つ個性があって面白く、可愛い。赤、緑、青など様々な色があり、綺麗である。牛乳パック灯籠が連なっている所では色が混ざりあって、とても幻想的である。
- ・絵灯籠は、完成度が非常に高く、製作した人のこだわりも感じられる。
- ・牛乳パックで出来ていると思えない。デザインも昔ながらの絵からアニメキャラなど、子供から大人まで楽しめるデザインである。

【気になった点】

- ・美人画が特に美しいが、キャラクター物は扱ってよいか心配である。

【提案など】

- ・足元に置くのもよいが、専用の台を設け、段差をつけアクセントを入れる。
- ・自分たちの牛乳パック灯籠を探しに来ている人もおり、小学校の灯籠の設置場所などと記載する。
- ・地元の小学生やお店の方々が作製されることに意味があり、このまま、今後も作製する数を増やす。地元出身のアーティストに作製してもらおう。さっぽろ雪祭りの彫刻のように時代を風刺したものがあると毎年、楽しみである。
- ・お祭りに来てもらったうえでだが、SNS による拡散が期待できる。

評価項目4 「行灯」について

【よかった点】

- ・LED により、明るくてよかった。
- ・LED だと様々な色が演出できるため、非常によい。
- ・階段は暗くなると危ないが、明るくなり設置場所もよい。
- ・「大山絵とうろうまつり」の文字が綺麗に発光していたので雰囲気が出てよい。
- ・他の灯籠に比べ、強い灯りで分かりやすい。
- ・デザインもよい。

【気になった点】

- ・大きさが中途半端で迫りに欠ける。
- ・LED で明るく綺麗で夜道でも安心して歩けるが、明る過ぎるのではないかな。

【提案など】

- ・店や旅館の場所が分かりやすいので、続けるべきである。
- ・これから期待できる新しい風物詩になり得る。景観的な役割とともに、暗い通りに明るさを灯

すことにもなる。今後、数を増やし、行灯の形も多くの種類があれば面白い。絵灯籠と同じく、地元の学生やものづくりの方々と協業する。

- ・行灯の周知のためには、動画サイト等による拡散力に期待する。
- ・同じデザインばかりでなく、絵とうろうのようにバリエーションがあれば、尚、よい。

評価項目5 併せて開催されたイベントについて

【よかった点】

- ・梅原展示場の絵とうろうは雰囲気にあった風情のあり、綺麗である。
- ・ゆるキャラと一緒に写真撮影ができる。
- ・店の方々と話ができ、楽しい。

【気になった点】

- ・イベントの開催状況（雨天時、中止等）や、ゆるキャラの出演状況が分からない。
- ・スタンプラリーはどこで引き換えができるかよく分からない。
- ・歌謡ショーは古い。
- ・ゆるキャラは絵とうろうの雰囲気と合っていない。

【提案など】

- ・梅原展示場の灯籠の数を、もう少し増やせば、もっと綺麗になる。
- ・もう少し、大々的に広告してもよい。
- ・雨天時の対応をパンフレットに記載する。
- ・スタンプの押せる場所が分かるようにする。コースを下社から清水屋さんまでにするのなら、景品引換え場所を清水屋さんなど下の方にも設置する。スタンプも押していけば、大山に関する説明になる等、スタンプ自体も工夫する。
- ・若い人向けのイベントの開催、交通の便のよいところでの開催等、開催場所の見直し。
- ・ゆるキャラを説明する場所があった方がよい。

評価項目6 「絵とうろうまつり」全体の印象について

【よかった点】

- ・絵とうろうが鮮やかで素晴らしい。
- ・和を感じられ、日本の夏の涼しさを出している。普段は登山客が多いが、着物を着るなど観光客の雰囲気がいつもとは違う。
- ・小学生とコラボすることで、地元の人も下社まで登るよい機会である。子供から大人まで楽しめる。
- ・他の祭りでは、密集で動きづらいが、周りを気にせず、自分の時間を過ごせる。
- ・夜道に絵灯籠が灯る景色は幻想的である。
- ・雨でも想像以上に人が多く、盛り上がりしており、ポスターからは落ち着いた印象を受けたが、ギャップにびっくりした。一人で来る人も楽しめる。

【気になった点】

- ・全体的な印象として、盛り上がりに欠けていた。
- ・車では、通り過ぎてしまい、じっくり見ることができない。土砂崩れなどの災害に弱い。ケーブルカーが使えないと厳しい。

- ・下社からこま参道までと、それより下のコースで雰囲気には差があり過ぎる。

【提案など】

- ・登山だけではつまらない人やカップルも引きつけられる。
- ・県道 611 号線（大山新道）には数々のとうろうが並んでいるが、清水屋さんから上の方には、道路上に上から吊り下げる行灯などでもっと明るさがほしい。

評価項目 7 「絵とうろうまつり」で魅力的と思ったものについて

- ・風情があり、大山の街並みにマッチしている。是非、若い世代の方々にも見てほしい。
- ・アニメから浮世絵までの絵とうろう。作成者の想いを感じた。産能大の学生には、是非、一度見てほしい。
- ・絵とうろうを知らない他の人にも見てほしい、知ってほしい。
- ・旅館にあった歌舞伎(?)の絵とうろうの迫力。
- ・小学生の作った牛乳パックの絵とうろう。どの道を歩いてもとうろうがあること。
- ・LED 行灯も、絵とうろうに負けなくらい綺麗だった。
- ・とても小規模であったが、青木館さんのプロジェクションマッピングが良かった。
- ・行灯が並んでいたのも、少し気になって歩こうと思ったこと。
- ・ロマンチックな雰囲気があり、浴衣で来る人も多く、イベントもあるので、デートにはお勧めである。
- ・「光」をコンテンツとした、プロジェクションマッピングを大々的にやるのも一つのアイデアである。

評価項目 8 「絵とうろうまつり」の改善点について

- ・宣伝が弱い。人が集まらなると意味がない。
- ・大山新道はバスが通過してしまい、絵とうろうがじっくり見るができない。また、大山新道の上の方は、行灯も絵とうろうも置いていない所もある。
- ・土砂崩れでケーブルカーが使えなかった。
- ・こま参道より下の方が人気、活気がない。
- ・SNS などでの拡散などをする。
- ・出店を増やす。
- ・絵とうろうの紹介やグッズ（使用されている絵のキーホルダーや冊子）などを提供する。
- ・雨天の場合の案内。
- ・いたる所に絵とうろうや行灯を設置し、明るくする。
- ・開催期間や開催時間を長くする。
- ・大山新道の絵とうろうの設置場所を改善する。
- ・ケーブルカーより、下の方でもでも楽しめるようなイベント開催する判断を早くから行なう。
- ・カップルやサークルで行けるよう、近くの大学への宣伝をする。

評価項目 9 「絵とうろうまつり」を外国人観光客にアピールするために必要なことについて

- ・外国人観光客を招待して、何らかのサービスやガイドブック、チラシなどを提供する。
- ・「とうろうは日本の文化」ということを様々な宣伝ツールで拡散する。

・チラシに英語訳を表記する。

- ・和服のレンタルショップで外国人への割引や、日本文化をとうろうの絵で表現する。
- ・バスの時刻など基本的な情報を案内に英語表記する。HP などで絵とうろうの写真一覧を作る。
- ・富士山や世界遺産、海外の有名スポーツ選手、歴史的偉人の絵とうろうを増やす。絵とうろう制作の体験教室の実施。
- ・移動手段の確保や英語表記を増やしたり、英語表記のメニューを置く。外国語を話せるボランティアガイドやWiFi 設備の導入。
- ・外国人が何が目的で来ているのか等を考える。
- ・ポスターや案内所に絵とうろうが日本文化の一つであることを伝えるモノが必要である。
- ・メディアで積極的に宣伝したり動画サイトなどで知名度を上げる。

評価項目 10 「絵とうろうまつり」にリピーターを増やすために必要なことについて

- ・伊勢原という地域がもっと観光地として根付いていかなければならない。
- ・まだまだ、PR が足りない。
- ・SNS による拡散が、現在では一番有効と思う。
- ・県道 611 号線さえ歩かなければ、また、来る。トイレなどが汚いと行く気がなくなる。
- ・一度来てもらった方にはがきを送るなどして招待する。
- ・絵とうろうグッズ。絵とうろう制作ブースなどの設置。
- ・出店や絵とうろうの数を増やす。
- ・毎年、構成を練っていく。
- ・近隣住民や学生に絵とうろうの制作を依頼する。
- ・カップルで店を利用したり、ファッションショーに参加すると割引や特典がもらえるようなキャンペーンを実施する。
- ・地元住民だけでなく、市外、国内、海外がから人を呼び込めるように PR を改善する。
- ・これ以上、必要なことはない。
- ・バスで来ることを推奨するのであれば、バスの本数を増やすべきだ。

自由意見

- ・開催期間を増やせば集客が見込める。若者に影響力のある観光大使を任命して大山の良さをアピールしてもらおう。
- ・今年、初めて LED 行灯を実施したように、毎年、何か新しいことに挑戦してみる。
- ・もっと若い人が取り組める内容を盛り込む。
- ・学生をターゲットにしたアピール方法をもっと考える。
- ・浴衣のレンタルや着付けのサービスなどをする。ケーブルカー運休の場合は、バス停に着く前などにアナウンスする。
- ・絵とうろうに関する HP 作成・スマートフォン対応。
- ・要所要所の明かりがほしい。

特記事項（特に気づいた点）

【気になった点】

- ・ 駐車場が少なく、既存の駐車場の案内も足りない。